

LIOJ NEWSLETTER

WELCOME TO LIOJ NEWSLETTER

In coming months, we will bring you a variety of news about LIOJ and about English-related topics. Through this newsletter, we hope to increase your understanding of the nature of our school and of ways to improve your ability in English. We also hope to keep you informed as our community program evolves to meet the changing needs of you, our students.

Kevin B. McClure

Kevin McClure
Acting Director, LIOJ

"Hello" Welcome to the Community Program at LIOJ. As Community Supervisor I would like to thank you for your interest and support of our school.

Magic Mike, Community Supervisor

LIOJの隠されたヒミツ

アジアセンター内、あるいは街で日本人同志なのに英語を話している人達を見つけたことはありませんか？

コミュニティー通学コースを受講している人の中でも知っている人は少ないと思うのですが..... LIOJのコースで中核となっている「企業人向け合宿英語特訓課程」は年間11回開催される4週間の合宿コースで、昭和45年以来今年で15年目を迎え、現在168期を開講しています。今回のコースには24社(下記)から38名のビジネスマンが参加しています。

彼らは朝8:30～夜8:30まで授業を受け、もちろん合宿中は“ENGLISH ONLY”と言う厳しい環境の中で生活している人達なのです。

ですから!!アジアセンターのロビーで話し掛けられたらニコリほほ笑んで英語で答えてください。

1986年第2回(通算168期)参加企業一覧

バイエル薬品・ブリヂストン・ブラザー工業
第一生命保険・大協ゴム精工・デーゼル機器
電気化学工業・富士通・ゼネラル石油
御殿場テトラパック・K. D. D.・川崎製鉄
興亜石油・三菱自動車・日本海事検定協会
日本ビクター・日本アイビーエム・大林組
RICOH・清水建設・住友信託銀行
住友生命保険・東京証券・東洋エンジニアリング
以上24社



CROSS CURRENTS

Volume XII No.2 Spring/Summer 1986

Cross Currents is a biannual journal published by the Language Institute of Japan in an effort to contribute to an interdisciplinary exchange of ideas within the area of communication, language skills acquisition and instruction, and cross-cultural training and learning. It has been published since 1972 and has subscribers in more than twenty-five countries.

The currents issue contains five articles, three Bright Ideas (short practical ideas for classroom use) and one book review. Four articles were written by teachers in the issue. Ms. Ellen Dussourd's "An American teacher in Kiev: Impression of English Education in the U.S.S.R." and three Bright Ideas written by Mr. William McOmie, Ms. Carolyn Brown, Mr. John Bistolos.

Editors, Paul Lehnert
Meg Grace

校長渡米中!

新教師採用

昨年7月に新校長に就任したJohn Fleischauerは、7ヶ月のハードワークの後、現在海外に逃避行中? これはLIOJが設立以来行っているリクルートの一環で、毎年500名におよぶ海外からの応募者を書類選考の後、校長が自ら海外に渡り直接面接を行うもので、今年は2月7日から3月25日の47日間の予定で各地を回り、約50名のインタビューを行います。また例年参加しているTESOLの国際会議にも参加します。

He will be visiting the following places to interview teaching applicants: Honolulu - San Francisco - Seattle - Portland - New York - Pittsburgh - Boston - Tampa - Chicago - Seattle - Anaheim - Toronto (Canada) - Detroit - San Francisco - Los Angeles - Honolulu - Seoul. He will also attend the TESOL convention which will be held in Anaheim, California. (TESOL is an international professional organization for Teachers of English to Speakers of Other Languages). Maybe he will find time to visit the original Disneyland located nearby.

LIOJ FACULTY

JOHN FLEISCHAUER, DIRECTOR M.A. International Relations (Southeast Asia), Ohio Univ. Pennsylvania USA
KEVIN MCCLURE, ACADEMIC SUPERVISOR M.A. Applied Linguistics, Univ. of South Florida, Florida USA
KATHY MASTON, ACADEMIC SUPERVISOR M.A.T. (TESOL); School for International Training (S.I.T.), California USA
MIKE KLEINDL, COMMUNITY SUPERVISOR M.A. (TEFL), Southern Illinois Univ. Illinois USA

INSTRUCTORS

JOHN BISTOLAS, Co-Editor, Cross Currents, M.F.A. English, Univ. of Oregon, Oregon USA
PATTI CLARK, M.A. (TESOL) candidate, Alaska Univ., San Francisco USA
CHRIS DICKINSON, M.A. (TESOL), Columbia Univ., Oregon USA
ELLEN DUSSOURD, M.A.T. (TESOL), S.I.T., New Jersey USA
ANDREW GATES, M.B.A. Inter'l Business/Marketing, McGill Univ. Ottawa CANADA
MEG GRACE, Co-Editor, Cross Currents, M.A. Linguistics, Syracuse Univ. Tennessee USA
LORNA JORGENSEN, M.A. (TESOL), Southern Illinois Univ., Idaho USA
MICHAEL LAZARIN, Co-Editor, Cross Currents, Ph.D. Philosophy, Duquesne Univ. Pennsylvania USA
PAUL LEHNERT, Co-Editor, Cross Currents, M.A. (TESOL), Southern Illinois Univ. Nebraska USA
DUNCAN MACINTYRE, B.A. Philosophy, Univ. of British Columbia, Vancouver CANADA
LAURA MAYER, M. Ed. candidate, Temple Univ. Dublin IRELAND
WILLIAM McOMIE, M.A. Russian, Univ. of Calif. Davis, California USA
STEVE MIERZEJEWSKI, M.A. English (TESOL), Portland Univ. Oregon USA
DAVID PICKLES, M.A. English, Univ. of Iowa, Pennsylvania USA
LARRY RIESBERG, M.A.T. (TESOL), S.I.T. Colorado USA

ワイワイガヤガヤ "COFFEE SHOP"

授業だけでは物足りないと言う方、会話の場がもっと欲しいと思っていられる方、また“授業はこんな風にしてもらいたい”とか普段言えないことを『フリートークキングWITHフリーコーヒー』の場で思いっきり発散してください!!日頃の英会話の成果を試すチャンスです。

授業よりCOFFEE SHOPが目的!なんて言う生徒さんもいるのですヨ!



LIOJ NEWSLETTER

TOEIC導入こぼればなし

巻はまだまだ寒さが厳しいおり、追い討ちを掛けるような昨日の雪と懐までも寒くなるようなこんどのLIOJのテストのはなし。たまりませんね！ご尤も！！
ここでは今回のテスト導入の背景について、説明させて戴きます。

自己のレベルの把握

従来のテストシステムのスコアによるレベル判定は、その普遍的妥当性が乏しかったことに加え、テスト実施についても、継続者が大半を占めることから、ここ数年は、新規の受講者のみの受験としてきたため、スコア自体に新旧の差が大きくなり、レベルを適切に比較することに困難を来してまいりました。今回採用したTOEICは、既に20万人を越える受験者と豊富なデータの提供が可能なこと、外部との客観的なレベルの比較やTOEFLとの相関関係の検証等、受講者にとってより広範囲での自己レベルの把握が出来るようになります。



英語学習の目標

TOEICのデータによるとスコアを100点上げるためには200~250時間が必要とされています。LIOJの4週間の合宿コースでもその授業時間は約180時間、ましてや週1回コースは1年間休まず受講しても、約60時間にしかありません。英語学習には普段の努力とその継続が肝心なのです。まずは自分のスコアから目標を設定してみてもいいかがですか。

クラス分けとTeachingの向上

定員制(例えば、水、木曜日の一般コースの場合、90名を6クラスに分ける)であるため、必ずしも全受講生のレベルがクラスレベルに通じているとは言えない点があります。そこでTOEIC採用により、受講生の皆様に個人のレベルと各クラスのレベル(各人のレベルがどの範囲のクラスに当てはまるか)を認識していただくと共に、LIOJ側も個人及びクラスレベルをより的確に把握することにより、各クラスに最適な教材の選択、適切な指導を行うことで、より充実したクラス編成と内容の濃いカリキュラムを提供できればと考えております。

テスト結果がすべてじゃない

ここまではテストについて述べてきました。しかしテストによって全ての能力が判るというものではありません。TOEIC、英検にしても、それぞれ充分研究し、開発されたテストですが、これらを使うことで英語の勉強自体がテストだけのためのものになってしまうのはなにもなりません。英語を使ってコミュニケーションする上では、これらのテストでは計り得ない多くの要素(人柄、趣味や教養、経験、度胸、話題の豊富さなどなど)が実際の会話を大きく左右するのです。テストスコアの高い人が必ずしも、素晴らしいコミュニケーションとは限らないという事です。要は、バランスのとれた総合的なコミュニケーション能力の向上が大事だということです。
今回のTOEIC受験対象者は、小、中、高校コースを除く全ての受講者ですが、中学生、高校生で是非チャレンジしたい方の受験も可能です。

春期コース受付のご案内

TOEICテストのご案内で申し上げました、スコア受領後に春期コースの受付を開始いたしますが、日程は下記の通りにさせていただきます。
継続者 : 3/10 ~ 3/15
新規 : 3/17 ~ 4/13

注) 毎年、春のコースは新規受講者の申し込みが多いのでお早めにお申し込み下さい。尚、コースの詳細内容は次号でお知らせする予定です。

ENGLISH SPEECH CONTEST

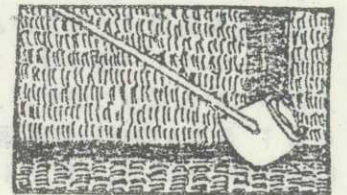
去る1月25日(日)の午後、小田原ライオンズクラブ主催の小田原で初めての英語による第1回高校生スピーチコンテストが、ここアジアセンターの大ホールを使用して行われました。

このコンテストには、小田原地区の高校7校から32名の英語大好き人間が参加し、優勝(アメリカホームステイ)をはじめLIOJ賞にいたる各賞を横目に見ながら壇上での6時間に及ぶ熱戦が繰り広げられました。参加者は各自のテーマに基づき、制限時間10分という短い時間をフル回転させ、それぞれにライオンが疾走し始めるがごとく滑らかに、時にほえるがごとくパワフルに、時には、木陰での小休止を取り混ぜながらの、笑いあり、歌ありの突に見事な奮戦ぶりをみせてくれました。

LIOJはこの日の審査の依頼を受け、校長ほか4名の教師がジャッジとして参加しました。

発表者のスピーチの内容、英語力のレベルの高さに終始驚きの表情を隠し切れない様子でした。この企画は今後も引き続き行われる予定です。

高校生コース受講中の諸君! 来年はぜひチャレンジしてみてもいいかがですか。



毎度お騒がせ致します。

PARKING PROBLEM

アジアセンターの駐車収容台数に限りがあるため受講者の方々にはご迷惑をかけておりますが、より効果的に駐車していただくため先般配布いたしました案内をご利用いただき、皆様のご協力をお願いいたします。なお詳しい案内図をお持ちでない方は、フロント横 LIOJ BOXにごございますのでご自由にお持ちください。

JOKE OF THE MONTH

Why did the boy throw the butter out the window?
He wanted to see the butterfly. Paul

☆☆ちょっとおじゃまします☆☆

この度LIOJでは皆様に、日頃隠された(!?) LIOJの一面をご紹介しちゃう!! という事で「LIOJ NEWSLETTER」などと大胆不敵な、会報発行を試みたのです。

今後は、コースのご案内、英語学習法、自習教材の紹介など、お堅い話しくわえ、楽しい話題の提供も考えておりますので、読者の皆様からもご意見・情報・話題などなどございましたらドシドシ頂きたいと思っておりますのであります。!!

何かといたらないLIOJではありますが、今後ともかわいがってやってください。 プラス4

ODAWARA PEOPLE なら知っている!!

タウンニュース*ポストショップに毎回、我々がLIOJの教師が登場している事...ご存じでしたか? お気に入りの先生がいるあなた!! 写真のしたにこっそりautographなどもらったらいかがですか!?

今後の掲載予定は:ポストショップ 2/21, 3/7, 3/21
タウンニュース 2/22, 3/8, 3/21